



## 6年生修学旅行 part I

昨日29日(火)~本日30日(水)まで、6年生は長崎に修学旅行に行ってきました。出発時に小雨が降っていましたが、長崎に向かう車窓の中から晴れ間が見えると、子供たちの中から歓声が上がっていました。その思いが天に通じたのか、雨は小雨となりました。

平和学習では、被爆体験講話から始まり、森内實さんという方から、被爆体験を聞くことができました。森内さんは、8歳のときに爆心地から約4.8km離れた場所で被爆されたそうです。被爆後は親戚などが森内さん宅に避難され、その後全員が亡くなっていく壮絶なお話に、原爆の悲惨な様子を知ることができました。森内さんは「平和って簡単にできたわけではないんです。戦争を体験した人たちの努力があり、今があります。平和を守っていくのはみんなの力が必要です。だからみんなと仲良くして欲しい。友達を大切に!」とお話されました。

その後、フィールドワークを行いました。各班に一人ずつボランティアガイドさんについていただき、原爆の被害を受けや場所や施設を自分たちの足で歩きました。子供たちにフィールドワークの感想を聞くと、「講話を聞いて、今じゃあり得ないことを知って、今の私たちが住む環境のありがたさを実感しました。」「具体的な情報を知ることができたので、こういう悲惨なことがあってはならないと思いました。これから自分にできることを探していきたいと思いました。」「長崎に来るまでは、戦争は怖いなど思っていて、フィールドワークで山王神社の一本足の鳥居を見て、奇跡的に立っていることを本当にすごいと思いました。明日はハウステンボスですが、そこに行けるだけでも平和なことだと思うから、これからは一秒一秒を大切にしたいと思いました。」「戦争は、どんなに悲しいことかわかって、戦争の恐ろしさを周りの人たちに伝えていきたいと思います。」「長崎に来てみないとわからないことがあって、被害の状況が分かって、家族や周りの人たちに伝えて世界が平和になるようにしたいと思いました。そして、まだまだ知っていることが少ないと思ったので、自分の足でまた訪れたり本を読んだりして知識を増やしたいと思いました。」「実際に現地で原爆の被害の跡を自分の目で見てみて、事前にイメージしていた以上に被害が大きいことに驚きました。」など子供たちにとって深い学びとなったようです。

また、その後原爆資料館の地下にある、追悼空間という場所で平和集会を行いました。それぞれの平和への思いを胸に、集会に臨むことができたと思います。〈つづく〉



講話の様子



フィールドワークの一場面



原爆資料館の様子